

当院における糖尿病を基礎疾患に有するコロナ感染症例の 非糖尿病コロナ症例との後ろ向き比較観察研究

海外において肥満および循環器疾患を基礎疾患に持つコロナ症例は高リスク群と報告されている。日本は世界第 2 位の超高齢化社会にも関わらず海外に比し、コロナ症例の志望率は格段の差をもって低い。平常時でも欧米人は凝固系が日本人より亢進傾向にあり虚血性心疾患も多い。日本人のコロナ感染者の経過を整理し、記録を残しておくことは将来の新興感染症の際に重要な情報源となりうる。

1、研究の目的：

糖尿病を有する有症状の挿管までの中等症コロナ感染者について臨床経過をまとめ、糖尿病と非糖尿病の経過の違いの有無を検討する。

2、方法：

当院受診者でコロナ抗原もしくは抗体陽性者について糖尿病 VS 非糖尿病に分けて糖尿病罹患歴、合併症の有無、他検査データをカルテベースに分析する。

3、被験者の選定の方針

【研究対照群】当院受診者でコロナ抗原もしくは抗体陽性者で入院治療もしくは救急外来で挿管となった患者

【除外基準】なし

【症例数】下記期間に診療する総ての該当患者

4、期間：コロナ患者受け入れ開始 ～ 2022 年 3 月 31 日

5、個人情報保護と患者識別の方法

被験者固有の情報（イニシャル、生年月日、カルテ番号）は医療機関で厳重に保管し、医療機関外の者が、被験者を特定できる情報（氏名・住所・電話番号など）を症例登録票や CRF には記載しない。尚、研究担当医師は研究期間終了後、速やかに被験者識別管理番号表を破棄する事とする。

6、被験者に及ぼす副作用や不利益に関して

後ろ向き観察研究であるため、なし。

7、研究に参加することについての研究協力費の有無：なし。

☆ 研究責任者： 糖尿病・内分泌・代謝内科 部長 金子 至寿佳

連絡先：（代表☎）072-696-0571

病院住所：〒659-1096 高槻市阿武野 1 丁目 - 1 - 1